

# みちしるべ

発行責任者 四街道市青少年補導委員連絡協議会  
会長 青木盛雄

事務局 青少年育成センター  
電話 043(421)7867

## 「一丸となって」

四街道市青少年補導委員連絡協議会 会長 青木盛雄

平成24年度四街道市青少年補導委員連絡協議会、第13回定期総会を開催しました。教育長より24年～25年度の2年間の補導委員委嘱状が渡されました。育成センター所長、職員のご指導ご協力をいただき、補導委員が一丸となって補導活動を行い、青少年の見守り活動がお役に立てればと思っております。今後は学校、PTA、地域、警察、各団体と青少年の健全育成についての意見交換ができる交流会を考えておりますので、その節はよろしく願いたします。

さて私たち補導委員が一番大切に進めている見守り活動は、「愛の一声」運動です。市内のパトロール時に出会った青少年の見守りに努めていますので、不審な行動を見かけましたら青少年育成センターにご連絡いただければ有難いです。連絡により補導委員が直ちにパトロールをさせていただきます。今後も補導委員による「愛の一声」見守り活動に精進いたしますので、皆様方のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

### 素直になる“勇気”を子どもたちとともに

《平成24年度 千葉県青少年補導(委)員連絡協議会総会・大会》

7月14日(土) 市川市文化会館にて、平成24年度千葉県青少年補導(委)員連絡協議会・総会及び大会が開催され、四街道市から16名が参加しました。

総会では、平成23年度の事業報告・決算報告、平成24年度の事業計画・予算案が審議され、すべて承認されました。総会と大会の間では、笑顔いっぱいの子どもたちが登場し、チアダンスのアトラクションが行われました。いたるところから手拍子が沸き起こり、会場全体が楽しい雰囲気になりました。

大会では、永年補導活動に貢献された方への感謝状が贈呈され、当市では小山紮美委員が授与されました。引き続き「子どもをとおり、母として学んだこと」という題で市川市青少年補導員から事例発表が行われました。記念講演では、子ども家庭教育フォーラム代表である富田富士也氏による「素直になる“勇気”を子どもたちとともに～せめぎあって、折り合って、お互いさまの還る家～」と題し、“寅さん”的な涙あり、笑いありの参加型の講演を傾聴することが出来ました。二時間近くの講演でしたが、あっという間に感じられるほど、感動的なお話でした。富田氏の子どもに対する心を開いた接し方に、今後の私たちの補導活動にも役立てていきたいと思いました。

受賞おめでとうございます！



青少年補導委員としていろいろな活動に参加し、「10年経ったよ、ご苦労様」と声をかけていただきました。毎年行われる研修、講演、また「一期一会」「みちしるべ」等からも、親として、人としての生き方、接し方を学ばせて頂きました。これからは活動を続けることで、少しでもお役に立つ事ができましたら幸いです。ありがとうございました。

四街道西中学校区 小山紮美

### 愛のみち子さん vol.4



# 青少年に「愛の一声」見守り隊

## 《第13回 四街道市青少年補導委員連絡協議会定期総会》



5月26日(土) 青少年育成センターに於いて、第13回定期総会が開催され、木村俊幸教育長より75名の青少年補導委員に委嘱状が交付されました。

総会では、平成23年度の活動報告・決算報告・監査報告の後、平成24年度の活動計画案・予算案を審議し、全て承認され、今年度の青少年補導委員連絡協議会がスタートしました。

また、新役員も決まり、子どもたちの見守りに、総勢75名が一丸となって取り組んでいこうと誓いあいました。

### 平成24年度 四街道市青少年補導委員 一覧表 計75名

四街道中学校区		千代田中学校区		旭中学校区		四街道西中学校区		四街道北中学校区	
仲田 重雄	四和小T	宇梶 ヌミ	南小T	和田 卓也	旭小T	池田 覚	四小T	丹羽 吾郎	中央小T
名取 高	和良比小T	奥田 貴也	八木原小T	水島 高嗣	山梨小T	塚越 昭広	四西中T	佐野 慶子	大日小T
村上 安仁	四中T	尾見 英明	千代田中T	飯田 和成	みぞら小T	高橋 正治	敬愛高校T	杉野 廉貴	栗山小T
山崎 陽子	四和小P/広報	檜貝 知恵子	南小P/広報副	水野 亜哉	吉岡小T	金子 浩明	愛国学園T	野村 英二	四北中T
嶺田 浩	和良比小P	長崎 真理	八木原小P	伊藤 肇	旭中T	滝戸 淑加	四小P	柴田 仁史	四街道高校T
井上 慶子	四中P	生野 幸子	千代田中P	高谷 香織	旭小P	押本 和美	四西中P	額賀 章光	四街道北高校T
吉橋 朋子	理事	阿部 治夫		笹原 純子	山梨小P	青木 盛雄	会長	山下 紀子	中央小P/研修
萱沼 左智子	会計	中村 よし子	会計監査	石井 潤子	みぞら小P	栗原 孝子	理事	南澤 一	大日小P
塚本 勝邦		北野 美子	理事	松尾 優子	吉岡小P	渡辺 美枝子	広報	清宮 史子	栗山小P/広報
大木 康美		久保木 利雄	副会長	中台 麻子	旭中P	神尾 和子	研修副	染谷 明子	四北中P
篠原 雅恵		渡邊 すみ子		海保 暁美		小山 梨美		豊田 君子	理事
小野 好美	研修	泉 広美	研修	渡辺 俊一郎		滝上 五百子		目黒 雅子	会計監査
杉野 睦美				五十嵐 陽子	副会長	越田 百合		新堀 義昭	
海保 英子				篠崎 有里	理事			岩瀬 雄三	
伊藤 勝				大沼 滋子	広報委員長			小川 範子	書記
				財部 剛				鈴木 雅子	
				卜部 靖次	研修委員長				
				福本 誠三					
				末政 輝行					



総会風景



補導委員 愛唱歌「愛の一声」斉唱

### 青少年育成センター職員のご紹介 (写真左より)

- 高木 繁 青少年育成指導教員
- 大熊 恵子 青少年育成センター 主事
- 柴 慶恵 青少年育成指導教員
- 三上 勝 青少年育成センター 所長
- 河田 育子 青少年育成指導教員
- 廣田 一利 青少年育成センター 副主幹
- 西條 絢 青少年育成指導教員
- 作田 夏彦 青少年育成指導教員



# 見守ろう青少年 届けよう「愛の一声」

## 《第34回 青少年健全育成推進大会・街頭キャンペーン》

7月14日(土)四街道市文化センターに於いて、第34回四街道市青少年健全育成推進大会が開催されました。

大会では青少年健全育成功労者として、安達貞二氏が表彰されました。青少年の主張では、市内小・中・高校生6名による発表が行われました。

講演では、作家で保護司でもある大沼えり子氏を講師に迎え『いのちをつなぐ言葉の力』と題し、東日本大震災での体験談、保護司としての子どもたちとの関わりを話してくださいました。

生きていく中で人とのコミュニケーションは不可欠で、気持ちを声にして伝えることはとても大切だと思います。

大会終了後はイトーヨーカドーに移動し、四街道で学び、生活する子ども達の健やかな成長を願いながら「愛の一声」啓発キャンペーンを行いました。

受賞おめでとうございます！



### 私を支えてきたもの

人生の中で、迷ったり人の道を踏みはずしてしまいそうになった時、決断したり歯止めをかけたりできたのは、父と母にもらった人生観のおかげである。母はいつも農作業をしながら、「だれも見えていなくても神様が見ているから」と手伝いをする私に言ってきかせた。仕事は手抜きせず、一生懸命やりなさいということだと思った。「農業は厳しい。愛情をかけないと良いものは育たない」農業を何年もやって得た農業観だと思う。母の声は、今も私が困った時に聞こえてくる。私にとって神様は、父と母だったのかもしれない。そして今、神様は、父と母から、もう一人の自分に変わろうとしている。

元旭中学校区 安達 貞二

### 推進大会に参加して

青少年の発表を聞き、現在の子どもの感性を知る事ができました。また、講演では、大沼えり子氏の人柄が心に伝わり、会場ではすすり泣く声も聞こえてきました。大沼氏は、被災者でありながら、多くの非行少年少女の母となり、心を救ってくださった方です。非行に走る多くの子どもは、心が傷ついています。この講演を聞いて、ただ声をかけるのではなく、心から声をかけ、接していこうと思いました。

千代田中学校区 生野 幸子

## がんばる理由・・・自分を必要とする人と場に必ず将来めぐり合う

### 《四街道市青少年補導委員連絡協議会研修会》開催

7月9日(月)青少年育成センターに於いて、研修会が開催されました。講師に、千葉県立柏井高等学校校長・水野次郎氏を迎え、お話を伺いました。水野氏は、幼児雑誌『こどもちゃれんじ』の初代編集長として、人気キャラクター《しまじろう》の生みの親となり、幼児教育にも深く関わってこられた、民間出身の校長先生です。「あなたを必要とする人と場に、必ず将来めぐり合う。今一生懸命勉強する意味、頑張る理由はそこにある。よりよき人、よりよき場に出会える自分を育ててほしい」という子どもたちに向けたメッセージが心に残りました。



### 研修会に参加して

#### 「子どもたちの行動」

先日、水野次郎氏の話聞く機会を得た。氏によれば、学校の数だけみな性格が違うし、学校ごとに抱えている問題は異なるという。

仕事上、多くの小・中学校の先生・児童・生徒と接している小生もそのように感じている。驚くほど子どもたちの行動の様子が違っている。各校わずか数日の訪問にすぎない小生にとって、いったい何がそうさせているのかわかりようがないが、校長先生・教頭先生が児童・生徒とどのように接しているかによるのではないかと思っている。

水野氏の学校では、生徒が悩み相談に校長室を訪れると聞いて、このような環境に育て上げるにはどうすべきなのか、もっと聞いてみたい気がした。

四街道中学校区 伊藤 勝

## 四和小学校校外指導部と巡る夏休み近隣店舗パトロール

ありがとうございました

四和小学校校外指導部が毎年夏休みに行っている「店舗パトロール」に、四街道中学校区補導委員が7月30日(月)、31日(火)の両日に参加し、地域の商業施設を巡って子どもたちの様子を聞き取り調査しました。小学生の親の立場で、店員の方々に「子どもたちがご迷惑をかけていることはありませんか?」と、尋ねると、快くお話を聞かせていただくことができました。四和小では、昨年度に地区青少年補導委員との懇談会を開催し、その時提案されたパトロール用のタックルバンドを配布するなど子どもたちへの安全に対する意識が高く、地区補導委員も「朝のあいさつ運動」に加え、今年度は「店舗パトロール」にも参加し、学校と地域一体の見守り活動に努めています。四和小学校校外指導部長望月さんの計らいで学校と地区補導委員がパトロール情報を共有する貴重な時間を得られました。



四和小学校校外指導部の皆様

### 1時間で・・・720人に声かけ(啓発グッズ配布)

《県下一斉合同パトロール》



パトロール打ち合わせ中

8月1日(水) 千葉県環境生活部県民生活課、千葉県青少年補導委員連絡協議会、千葉県青少年補導センター連絡協議会の協賛で県下一斉合同パトロールが行われ、県内の各市町で子どもたちへの声かけ活動や啓発活動が実施されました。

四街道市でも、青少年補導委員が駅周辺、商業施設や公園で子どもたちに声かけをしながら、うちわ、バンソウコウ、ポケットティッシュ、「自転車の安全な乗り方」のリーフレットを配布しました。夏休みの夕刻ということもあり、小・中・高校生はもちろんですが、あらゆる世代の方々に声かけができました。時には、買い物途中にもかかわらず足を止めて労いの言葉をかけて頂くこともありました。啓発活動として成果を感じることでできる有意義な時間になりました。

### ～居場所、ありますか～

#### 《第62回「社会を明るくする運動」講演と映画の集い》参加

7月11日(水) 四街道市保健センターに於いて、八街少年院院長・宮崎誠氏による「少年非行の現状について」と題して講演会と、映画「クラスメート ～居場所、ありますか～」が上映されました。

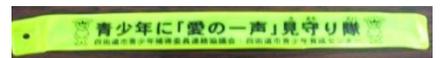
宮崎氏のお話では、八街少年院に収容されてくる少年の約半数が、二度目の入院だということです。一度は涙ながらに更生と社会復帰を誓い少年院を出て家庭に戻るのですが、家族の不和や貧困、虐待で孤立してしまうそうです。彼らには、更生しても帰る場所が無いのです。少年たちの社会復帰には、地域、学校、家庭の理解と協力が不可欠なお話でした。親の愛情が子どもの健全育成にいかにか大事であるかということも改めて認識しました。

### ☆今年度の主な活動 (8月までの活動は終了しました)

- ◎10月10日(水) 第2回補導委員研修会
- ◎10月19日(金) 関東ブロック青少年補導センター連絡協議会
- ◎10月4日(木)・16日(火)・18日(木)・23日(火) 県下一斉広域列車補導
- ◎11月 千葉ブロック研修会
- ◎5学区合同パトロール
  - 9月 4日(火) 千代田中学校区 (終了)
  - 10月24日(水) 四街道中学校区
  - 11月 8日(木) 四街道北中学校区
  - 12月14日(金) 四街道西中学校区
  - H25'1月21日(月) 旭中学校区



パトロール用ベスト



タックルバンド

～編集後記～ 2学期が始まって早2週間。子どもたちも普段の生活リズムを取り戻したころでしょうか。夏の疲れが出て、つつい中だるみしてしまう時期でもあります。四街道の子どもたちが健全に過ごせるよう、よりあたたかい「愛の一声」をかけていきたいと思えます。